

「事業名：「環境エネルギーまちづくり」を通じた地域社会イノベーション」 2020年度事業の概要

東京大学 連携市町村：新地町

現地拠点：相馬郡新地町駅前1丁目5番地 観海プラザA棟1階

事業のポイント

福島県新地町において、地域エネルギーシステムの将来ビジョン構築、関係人口の動態分析とモビリティ向上に向けた政策提言、それらを統合した共創型地域マネジメントを、公・民・学連携のまちづくり拠点「新地アーバンデザインセンター」(UDCLしんち)を設立して実践する。これにより、「環境エネルギーまちづくり」のモデルを形成する。

2020年度の活動内容

- UDCLしんちの運営を通じた新地駅周辺地域の整備支援 / 大学院生・研究者による現地調査コーディネート / 拠点を活用した人材育成や住民との交流機会の創出
- 再生可能エネルギーポテンシャルの精緻化と再生可能エネルギーへの移行条件の探索 / 地域電力会社のビジネスモデル探求
- “Walkable and Bikeable Town” の実装に向けた調査と政策提言 / 電動アシスト自転車貸出しシステムの構築とビジネスモデル提案 / 観光客の動態分析 / ふるさと学ワークショップの開催

取り組みによって得られる成果

- 新地駅周辺のまちづくり・賑わいづくりの支援 / 地域のニーズを反映した学生による現地活動の実施
- 新地町の実情を反映した再生可能エネルギーの普及促進や地域課題の解決に資する地域エネルギー供給会社のあり方の提示
- 新地町の魅力向上とその発信による関係人口増加策の提言

【取り組み概要】

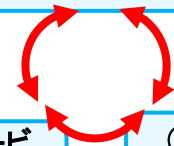
①活動拠点「UDCLしんち」の運営

- ・大学・地域間連携プラットフォーム
- ・学生受入れ・現地コーディネート
- ・情報発信、学生と地域の交流事業実施
- ・駅周辺復興まちづくり支援・評価



拠点活用(成果の発信、フィードバック)

交流を通じた学びの場



②地域のエネルギービジョン構築と担い手育成

- ・再生可能エネルギー(太陽光や風力)を主要電源とする供給体制への移行に向けた経済・社会条件の探索
- ・新地町で成立可能な地域電力会社のビジネスモデル探索
- ・大学院生の教育としても実施



③サステナビリティ学演習を通じた政策提言

- “Walkable and Bikeable Town” の実装に向けた調査と政策提言
- ・電動アシスト自転車貸出しシステムの構築とビジネスモデル提案
- ・観光客の動態分析
- ・みちのくトレイルを軸とした他地域との連携
- ・ふるさと学ワークショップ



演習の連携・成果の共有

【取り組みの成果】

- 駅前のにぎわい創出
- 再生可能エネルギーの普及と地域エネルギー供給に向けたビジョン提示
- モビリティ向上における観光客の獲得に向けた政策提言

活動の継続⇨新地モデル確立と浜通り市町村への復興知展開へ